

学校だより

平成15年12月19日

あさい



大門町立浅井小学校
大門町島1386番地
電話 52-0723
FAX 52-6773
<http://www.tym.ed.jp/sc145/>

二学期の教育活動から よさを見つけ、伝え合い、生かし合う

4月より地域や友達によさを見つけ合い、伝え合い、生かし合う教育活動に力を注ぎ、子供と教師と家庭、地域が共に育つ、開かれた学校づくりを目指し、学校運営、教育活動に努めてきました。2学期は皆様方の本校教育に対してのご理解とご協力により、学校・家庭・地域三者の連携がより一層密接になり、地域によさを生かす活動が充実し活性化してまいりました。

特に6年生が「鴨川復元プロジェクト」に取り組む中で子ども議会で提言した「トライアングル条例」や藻狩り十字軍などで地域ぐるみのご協力をいただき、心よりお礼申し上げます。おかげをもちまして子供たちは地域の自然や人とのかかわりを通して、浅井のよさや友達同士のよさを互いに見つけ合い、伝え合い、生かし合うようになってきました。幼稚園の子供たちも「ちびっこ探検隊」になり、浅井の自然や人との出会い、ふれあいを通して浅井のよさを見つける活動をしています。本校の2学期の取り組みの一端を紹介いたします。

浅井のよさをみつけよう、伝えよう、生かそう ~浅井のじまんを伝え隊(3年)~



浅井のじまんを伝えよう

3年生は2学期の総合的な学習で「浅井のじまんを伝え隊」をテーマに浅井のじまん、よさを調べてまとめ、伝える活動をしました。9月には川探検、お年寄りとの交流体験、10月には自分が調べたい活動、そして11月にはホームページ作りに取り組みました。子供たちは浅井のよさを見つけ、「こんなにも浅井にはじまんできるものがあるんだね。米や川や魚などの生き物は水とのかかわりがあるんだね。」とより一層地域のよさに気付きました。

<井戸水が出たよ。>

昨年の5月より子供たちがかち込み式の井戸掘りを始めて1年4ヶ月、9月4日のかち込み祭りの日に合わせて、水が湧き出ました。子供たちや先生たち、地域の人達も大喜び、感動が泉のように湧きあがり、より一層地域のよさ、浅井の水を生かした取り組みへの意欲が高まりました。この井戸掘りのためにご尽力いただきました地域の方々に深く感謝申し上げます。勢いよく湧き出ている井戸水の活用を子供たち、先生たちで考えています。





サケのつかみどり

サケの赤ちゃんの誕生

2年生は11月5日、庄川のサケのやなばを見学し、サケのつかみどりを体験しました。25日には養魚場でサケの卵をもらい、正面玄関の水そうとプールの更衣室に分けて育てています。そのサケの卵から次々と赤ちゃんが生まれみんな大喜びです。サケの赤ちゃんが順調に育ってくれることを祈っています。

心の健康づくりの取り組み ~保健室から~

<心の天気図>

遊び感覚で子供たちが自分の気持ちを表現できる「心の天気図」を廊下に掲示しています。その日の気分によって「雨・かみなり・くもり・はれ」といったように、マグネットを用いて素直に気持ちを表現しています。はれのマークが多いと、なぜか安心できます。雷のマークが多いとどうしたのかなと心配になります。先生も子供たちも友達の心を知るきっかけになっています。



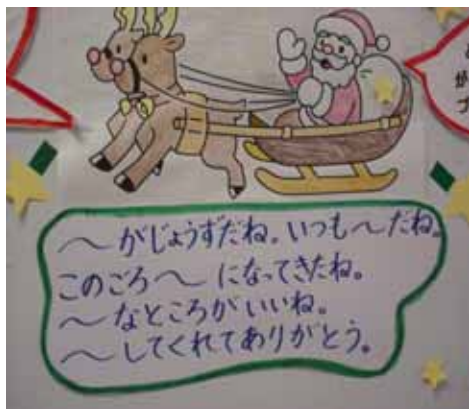
<保健室での相談活動> ~話しやすい環境づくりの工夫~

保健室では相談活動に力を入れています。そのために相談しやすい環境づくりに努めています。保健室ではこころよい音楽やきれいな熱帯魚、観葉植物、ゆったりできるスペース、パズルなど、心をほぐすための環境に配慮しています。

子供たちは保健室にあるパズルを作ることにより「やったー」「一つはいったよ。」と達成感を味わい、リラックスした気持ちでうれしそうにいろいろな話しをします。その中で悩みなど言ったりします。悩みを打明け、話している友達に優しい言葉掛けをしたり、いたわってあげたりし、自然に友達を思いやる心が育つよう願っています。問題がおきてから解決をするのではなく、保健室という環境になれば、気持ちが開放され、つぼみの時に子供たちが心を開いてくれるよう、いろいろな話を保健室ですべてくれることを願っています。「ほけんだより」も本年度、子供の心の成長や問題点に重点をおいています。学校と家庭、地域の連携があつてこそ、豊かな心が育つと思いますのでよろしくお願いたします。

自分や友達のよさを見つけよう、伝えよう

<よさを見つけ合う活動>



12月の人権週間(4日~10日)に「よさを見つけ合う活動」に取り組んでいます。友達のよいところやがんばっているところを見つけてメッセージカードに書いてもらい、放送で「心のプレゼント」を紹介しています。

~心のプレゼントから~

Aさんへ「集会の司会が一人でできるようになってきたね。」

Bさんへ「いつも明るくて、元気がいいですね。」

このように人権週間に子供たちが人権について考え、よさを認め合い、お互いを大切にしようとする意識を高めるようにしています。